

平成29年度



ティーンズミーティングの概要

私たち子どもは
地域のことや人との
つながりについて
こんなことを考えています



子どもたちの
思いや考えに耳を傾け
子どもが健やかに育つために
何が必要かを考えてみませんか



平成21年12月に制定した尼崎市子どもの育ち支援条例をもとに、尼崎市が「子どもたち一人ひとりが大切にされて、たくさんの人に支えられて育つまち」になるための取組の一つとして、子どもの目線で社会はどう見えているのかなどを知り、市の行政や地域の大人の取組に活かすために、平成23年度よりティーンズミーティングを開き、小・中学生の思いや考えを聴いています。

平成29年度はこれまでに引き続き、7月下旬に小学校6校で各1回、12人程度のグループをつくり、「つながり」をキーワードにティーンズミーティングを開催しました。小学校（5・6年生）49人に意見を聴きました。





テーマ1 「地域の大人力を借りて実現してみたいこと」

(1) 地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

- 色んな人と交流できる、楽しいイベントをしたい
- ・お年寄りや身体の不自由な人も楽しめるお祭りをしたい
- ・誰でも参加できる、昔遊びの競技大会をしたい
- ・友達や地域の人と、楽しくご飯を食べる機会をつくりたい
- 体験したい
- ・田植えや稲刈りなどの職場体験や、身近なコンビニの職場見学がしたい
- ・図工が得意なので、人に教えたい

- きれいな町だとポイ捨てしないと思うので、町なかに花や緑を増やしたい
- スポーツ選手から、直接指導を受けたい
- 人に捨てられた動物が、その後どうなるのかを知りたい
- 勉強が楽しいと思えるように、もっと分かりやすくて面白い教科書を作りたい
- ピアノを弾いたり歌うことが得意な子どもがいるので、みんなの前で発表できるようにコンサートをしたい

(2) どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

- お祭りをする時は必要な物を準備したり、施設を使わせてもらえるように話しに行ったりする
- 子どもが田植えを体験できるように、田んぼを持っている人に話しに行く
- 花や植物の植え方を、子どもにアドバイスする
- スポーツ選手に、子どもに直接教えて欲しいと働きかける
- 子どもの意見を聞いて、どうすればもっと分かりやすくて面白い教科書を作れるかを考える
- 楽器の演奏が得意ではない子どもも参加できるように、楽器の演奏や歌の得意な大人が子どもに教える

大人・子ども

- 子どもから「昔遊びを教えて欲しい」と相談されたおじいちゃん達は、同世代の人に声をかけて、子どもに昔遊びを教える仲間を集める
- 学校の図工室を使えるか、先生に相談して一緒に企画する
- 子どもが中心になって、先生と一緒に学校の花壇に季節の花や植物を植える
- 保健所の人に講師をお願いして、動物の命の大切さを学ぶ

子ども

- 地域の人に「昔遊びを教えたりして協力してくれませんか？」と声をかける
- 「田植え体験や職場体験がしたいので、協力してください」というポスターを地域の掲示板に貼る
- 花屋に職場体験に行って、花や植物の植え方を学んで地域で実践する
- スポーツ選手から指導を受けた子どもは、学んだことを他の友達に教える

テーマ2 「地域の大人に改善してもらいたいこと」

(1) 地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

- 公園の遊具やトイレをきれいに使って欲しい
- 自転車に乗る時は、交通ルール・マナーを守って欲しい
- ・信号無視をしないで欲しい
- ・乗りながらスマートフォンを操作しないで欲しい
- ・安全確認をせずに飛び出すのはやめて欲しい
- 不審者に警戒して、安全な町にして欲しい
- ・不審者が多くて学校からの帰り道が危険なので、下校時間にも見守り隊の人に活動して欲しい
- ・通学路にあるこども110番の家が減ってきたので、もっと増やして欲しい
- タバコの吸殻をポイ捨てしないで欲しい

- 通学路やバス停の近くに喫煙所があるが、タバコのおい煙が気になるので、設置場所を考えて欲しい
- バイクなどのエンジン音や、居酒屋から出た後に騒いでいる人がうるさいので、静かにして欲しい
- 狭い道路を走っている時に車がスピードを落とさずに追い抜いて行くが、怖いのでやめて欲しい
- イヤホンで音楽を聞いたり、スマートフォンを操作しながら歩くのは危険なので、やめて欲しい
- 子どもに注意する時は頭ごなしに怒るのではなく、叱り方を考えて欲しい

(2) どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

- 公園の遊具を大切に使うように、子どもに声をかける
- 夏場の午後5時はまだ明るいですが、午後5時には家に帰るように、子どもに声をかける
- タバコを吸う人自身が、自分の行動を見直す
- 大きな音が出るバイクや、バイクを改造する道具を販売しない

大人・子ども

- 公園のトイレを掃除する
- 絵の得意な大人と学校の図工クラブの人達が「信号無視をしないで」と呼びかける横断幕を作って、信号無視が多い歩道橋に設置する
- 自転車でカーブを曲がる時は、スピードを落とす
- 何かあったら見守り隊の人に相談できるように、普段から挨拶をして、顔見知りの関係をつくる

子ども

- 遅い時間に出歩かない
- 見回りをしてくれるかもしれないので、交番のお巡りさんといろいろな話をする
- 大人が騒音を出していたとしても、子どもは真似をしない
- 居酒屋での出入り口に、「お店の外では静かにしてね」と書いたポスターを貼る
- 安全に通行できるように狭い道路では常に端を通過して、他の人にも真似してもらえようような行動をする





テーマ3 「子ども同士の関係を、よりよくするためにできること」

(1) 子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？ その理由は何ですか？

冷やかしがきっかけで、友達関係がうまくいかなかった
意見が合わなくて、うまくいかなかった
ささいなことがきっかけで、うまくいかなかった
会話のなかの誤解がきっかけで、うまくいかなかった

順番を抜かしたり、自己中心的な言動をする人がいた
理由は分からないが、嫌なことをされたり言われたりした
嘘や陰口がきっかけで、うまくいかなかった
笑いながら謝る人がいて、嫌な気持ちになった

(2) 子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

- ・まずは子ども同士で解決できるように見守るが、手を出しそうになっていたら、とめに入る
- ・ケンカしたことを責めるのではなく、まずは子どもの話をしっかり聞く

大人・子ども

- ・友達とケンカした時にどうしたら解決できるか、次に友達とケンカしそうになった時にはどうすればケンカにならないかを一緒に考える
- ・子どもから相談を受けた大人はアドバイスをし、子どもはそれを受け入れる
- ・仲間はずれがあった時は、見て見ぬふりをしない

子ども

- ・友達との関係で悩んでいる人がいたら、周りの子どもが声をかけて話を聞く
- ・ケンカをしている人がいたら周りの子どもがとめに入って、ケンカをした本人達が話し合える雰囲気をつくる
- ・仲のよい友達に相談する
- ・わざとではなくても、相手が嫌な思いをしたと思った時は、きちんと謝る
- ・誤解が生じた時は、相手が何を言いたかったのかを考えたり、自分が何を言いたかったのかをきちんと伝えたりする
- ・相手が嫌な思いをしないか考えてから、発言する
- ・されて嫌だったことは、直接相手に「実は嫌だった」と伝える
- ・グループのメンバーとうまくいなくて1人ぼっちになっている人がいたら、声をかけて一緒に遊ぶ

フリートーク

- 気づいたこと -

みんなで話し合うことで、いろいろな解決策が見つかること
改善しないといけないことはたくさんあるけど、解決できることもたくさんあるということ
尼崎市や地域の人が、まちをよくするためにいろいろな取組をしていること
自分では思いつかなかった、いろいろな意見があること
みんなも、友達との関係で悩んでいること
町をよくするには、話し合いをすることが大切だということ
困った時に、もっと地域の人を頼ってよいということ

- 感想 -

普段言えなかったことを言えてよかった
誰にも言えずに悩んでいたことを言えてよかった
自分では思いつかなかった意見について、自分の意見を言えて楽しかった
みんなの考えていることが分かってよかった
ルール・マナーを守って欲しいなど、自分と同じ意見の人がいて嬉しかった
ミーティングというのが初めての経験だったので、楽しかった

- 明日からやってみようと思うこと -

ごみが落ちていたら拾う
家の周りに花や植物を植えて育てて、ポイ捨てしにくい環境を作る
地域のごみ拾い活動に参加する
相手が嫌がることを言っている友達がいたら、「やめや」と言う
「大人に改善して欲しい」と考えていたことでも、子どももできそうなことはやる
色んな考え方があるから、自分の意見を押しつけるのではなく、他の人の意見も聞く
すごい意見がたくさん出たので、一つでも実現したい

意見を言えるか不安だったけど、少人数での話し合いだったので、意見を言いやすかった
ファシリテーターのおかげで、緊張せずに意見を言えた
改善したいことや大人の力を借りて実現したいことを、どうしたら実際にできるか考えることができてよかった
尼崎市をよくするためにどうしたらよいか、しっかり考えることができてよかった
ティーンズミーティングのような機会があれば、また参加したい

ワークショップを
開催しています!!

こどもの声 に耳を傾け

大人ができること を一緒に考えてみませんか？

ティーンズミーティングでのこどもの声を聴いて、「地域住民として何ができるのか？」を考えるワークショップを実施しています。

将来地域の担い手となる、今の子どもたちみんなが健やかに育つために「今何ができるのか」を考えてみませんか。

*グループ単位で申し込みを受け付けています。詳しくは下記連絡先へ問い合わせください。

月
日
日

「平成29年度ティーンズミーティング開催結果」の詳しい内容については、
尼崎市ホームページの「ティーンズミーティング開催事業」をご覧ください。

ホーム > 暮らしの情報 > 学ぶ・あそぶ > 事業者の方へ > 市政の情報 >

現在位置: ホーム > 市が考える尼崎 > 子ども関連施策 > 尼崎市子どもの育ち支援条例 > 条例の理念実現のための取組 > ティーンズミーティング開催事業

市政の情報

条例の理念実現のための取組

- ▶ 地域社会の子育て機能向上支援事業(子育てコミュニティソーシャルワーク)
- ▶ 子ども家庭相談支援体制整備事業(スクールソーシャルワーク)
- ▶ ティーンズミーティング開催事業

ティーンズミーティング開催事業

この事業は、条例の理念を実現していく取組の一環であり、平成23年度から複数年をかけて公立小学校・中学校の子どもを対象に、広く思いや考えを聴こうとするものです。

子ども同士の話し合いを通じて、思いや考えを聴くことにより、「子ども目線で社会はどう見えているのか。」「子ども同士の関係を子どもはどうとらえているのか。」を把握し、(1)必要に応じて、子どもの視点から見た、子どものニーズを踏まえた子ども関連事業の構築などにつなげるとともに、(2)地域住民などが、子どもの思いや考えを知ることにより、子どもの育ちに関心をもち、関わる可能性を高めることを目的としています。

開催結果

平成29年度

- ▶ 平成29年度ティーンズミーティング開催結果(PDF 143.8 KB)
- ▶ 平成29年度ティーンズミーティングの概要(PDF 973.0 KB)

こちらを
ご覧下さい!!

尼崎市 こども青少年本部事務局 こども政策課
〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号
電話番号 06-6489-6341
Eメール ama-kodomoseisaku@city.amagasaki.hyogo.jp
ホームページ <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/>

